



品質性能試験報告書

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成16年 9月30日

財団法人 建材試験センター
中央試験所長 勝野 幸
埼玉県草加市稲荷 20号



試験名称	木造建築用接合金物を使用した接合部の引張試験
依頼者	会社名：株式会社 カ ナ イ 所在地：埼玉県八潮市西袋717番1号
試験体 (依頼者 提出資料)	<p>1. 接合金物 名称：木造建築用柱脚仕口金物 商品名：H-HD15-20 用途：柱脚の仕口に使用する金物（アンカー型） 寸法：幅40mm，長さ172mm，厚さ4.5mmの鋼板添え板にコの字形に折り曲げた厚さ4.5mmの鋼板を溶接接合したもの（図-3参照） 材質：SPHC (JIS G 3131) 表面処理：溶融亜鉛めっき</p> <p>2. 接合具 木ねじ：3#角ビット鍋スクリューφ6.0×60，5本使用 呼び長さ；60mm，ねじ部の長さ；45mm，ねじ部の外径；6.25mm 谷の径；4.45mm，ねじ山のピッチ；2.82mm，ねじ先の形状；切り刃先 材質；SWRCH22A (JIS G 3507) 相当品であり，下記の化学成分を満足する。 C (0.18~0.23%)，Si (0.10%以下)，Mn (0.70~1.00%) P (0.030%以下)，S (0.035%以下)，Al (0.02%以上) 表面処理；電気亜鉛めっき及びセラミックコーティング アンカーボルト：M16六角ボルト，材質；SS400 (JIS G 3101) 表面処理；Ep-Fe/Zn 5/CM2 C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>3. 使用軸組 柱：樹種；すぎ，寸法；105×105mm</p> <p>4. 試験体数 7体（うち1体は予備試験体）</p> <p>参照：図-1～図-3（試験体の形状・寸法）</p>
試験方法	木造軸組工法住宅の許容応力度設計（監修：国土交通省住宅局建築指導課・木造住宅振興室，企画編集・発行：財団法人日本住宅・木材技術センター）の2章「木造軸組工法住宅の各部要素の試験方法と評価方法」に従って行った。その詳細を表-1に示す。
試験結果	短期基準引張耐力(P _{0t})：20.9kN 耐力算定基礎資料：表-2 荷重-変位曲線：図-4及び図-5 破壊状況：写真-1～写真-6
備考	当該試験結果は，平成12年建設省告示第1460号表三（ち）に定める 20kN用引き寄せ金物（必要耐力20.0kN）に該当する。
試験期間	平成16年 9月 9日
担当者	構造グループ 試験監督者 橋 本 敏 男 試験責任者 高 橋 大 祐 試験実施者 室 星 啓 和
試験場所	中央試験所